

2013年10月1日

関係者各位

日経BP社 広告業務部

日経BP社の広告データ保存ルールについて

雑誌広告デジタル送稿推進協議会より「雑誌広告原稿管理ガイドライン」が告知されましたが、「掲載後の原稿返却及び破棄」のルールにつきまして、日経BP社ではこれまで通りの独自のルールを適用させていただきますことをご連絡させていただきます。

○データ保存ルールについて

日経BP社は会社創立の最初の雑誌である日経ビジネスの創刊以来継続している「在版流用一年間保証」サービスを、今後も全雑誌で継続させていただきます。

入稿された広告データは弊社内の広告原稿保管用の専用サーバにすべて保存し、流用保証期間である13カ月間保管の後、消去させていただきます。

在版流用についてはすべてサーバの保存データを使用します。サイズが共通の弊社発行の他雑誌についても流用が可能です。同時期に発行する複数雑誌についても、事前にご指示いただければ、発行日の一番早い雑誌にご入稿いただいた原稿を、すべての雑誌に共通に使用することが可能です。

○広告原稿の返却について

入稿された広告原稿は原則として返却いたしません。

現在ご入稿いただいている原稿は書き換え不可のCD-Rが主流となっておりメディアの再利用を前提としないこと、入稿データがJ-PDF形式で修正や変更を前提としないこと、原稿が弊社内のサーバに保存されることから送稿作業に特に支障をもたらすことは無いと考えます。また弊社内でセキュアな環境下でメディアを処分することで、万一の情報漏えいやデータ流出などでクライアント様にご迷惑をかけるリスクを回避できるものと考えます。原稿返却が必要な場合はご入稿時の原稿袋に分かりやすく「要返却」と記入の上、発行日までに進行担当者に返却の要請をお願いいたします。

入稿メディアにつきましては弊社はCD-RまたはDVD-Rのみとさせていただきます。MOについてはドライブの老朽化により印刷会社においてもデータ破損の危険性が高くなってまいりますのでお受けできませんのでご注意ください。

以上